

研究室名	<b>生殖発生生物学研究室 学会発表</b>
------	------------------------

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

発表時期	2024年3月
学会名	日本動物学会関東支部大会
演題名	始原生殖細胞のメス化に関わるCG1677の同定とその役割
発表者	<p>○印南花奈1※、前田隼佑1※、金沢幹太1※、村田悠太1※、脇田峻太郎1※、林誠2、小林悟2、<u>太田龍馬1,2</u></p> <p>1: 帝京大学理工学部バイオサイエンス学科 2: 筑波大学生存ダイナミクス研究センター</p>
内容	<p>有性生殖を行う多くの動物において、卵や精子のもとになる始原生殖細胞の性決定機構は、次世代を得るために必須なしくみです。本学会では、ショウジョウバエ始原生殖細胞のトランスクリプトーム解析から、始原生殖細胞のメス化に関わる新規遺伝子としてCG1677遺伝子を同定したこと、さらにCG1677遺伝子は始原生殖細胞のメス化を誘導するとともに始原生殖細胞のオス化を抑制していることを示唆する結果について報告しました。なお、本発表では、発表を行った本学卒研究生の印南花奈さんが、学生を対象とした優秀発表賞に選ばれました。</p> <p>本研究は、科学研究費補助金(25114002、18H05552、18K14739、20H03287)および筑波大学TARAプロジェクトの支援を受けて行ったものであり、筑波大学との共同研究により行われました。</p>
関連画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>